

決算特別委員会

決算特別委員会(伊沢勝徳委員長)は、平成二十九年第二回定例会で設置され、第三回定例会で付託された平成二十八年度決算の認定議案などについて、部局ごとの部門別審査と全部局を対象とした総括審査を実施するため、計七回の委員会を開催しました。

部門別審査は、監査委員の決算審査意見を参考に、部長などから説明を聴取し、予算が適正かつ効果的に執行されたかという視点を基本に行いました。

さらに、昨年度に各常任委員会が設定した重点テーマに関連する事業について重点的に審査を行いました。

質疑では、茨城空港への就航対策、霞ヶ浦の水質浄化、中小企業のための制度融資の充実、圏央道の四車線化の早期実現、訪問型家庭教育支援による取り組みの拡大、信号機の新設数の増加方策などについて活発な質疑応答が交わされました。

審査の結果、予算の執行および決算は、その内容を適正なものと認め、原案を認定および可決すべきものと決定しました。

常任委員会提言(抜粋)

各員会では、個別の重点審査テーマを設定して調査活動を行い、それを踏まえ、取り組むべき政策を執行部に提言しました。

総務企画委員会

- テーマ…「茨城の魅力活用に向けた取り組み」
- 提言…インターネットを専門とする広告代理店のノウハウを活用した県施策などのPRを強化し、県政情報の県民への到達度の向上を図ること など

防災環境商工委員会

- テーマ…「生活環境部関係「野生鳥獣の保護管理の推進」」
- 提言…「狩猟者や市町村などへ、従来、インシンの生息が確認できていない地域や分布拡大地域での目撃情報などを収集し、提供することで、早期の対策を促すこと」 など
- テーマ…「商工労働観光部関係「魅力ある観光産業の振興」」
- 提言…「茨城国体や東京オリンピック・パラリンピックを見据え、市町村や関係団体と連携の上、全県的なおもてなし向上に取り組んでいくこと」 など

保健福祉委員会

- テーマ…「医療・福祉分野における人材確保対策」
- 提言…「地域医療支援センターを中心に医師の確保、定着促進及び地域偏在の解消に向け、高校生、医学生、研修医、医師など、それぞれの段階に応じた対策を行っていくこと」 など

農林水産委員会

- テーマ…「茨城農林水産業の成長産業化の着実な推進」
- 提言…「県オリジナル品種を牽引役として、本県農産物のブランド力強化を図るため、ICTなどを活用した栽培管理技術の共有化・見える化や低温貯蔵技術の開発などにより、設定した生産基準や品質基準に合った高品質な商品の生産拡大に取り組むこと」 など

土木企業委員会

- テーマ…「災害に強く、誰もが安全・安心に暮らせる県土づくり」
- 提言…「復興・創生期間内の重点整備区間の完成を目指すなど、重点整備区間の早期完成と残区間の事業化を促進すること」 など
- テーマ…「警察本部関係「不法就労及び不法滞在の対策の推進」」
- 提言…「不法就労・滞在する外国人の居住実態、就労状況、立寄り場所などを踏まえ、不法就労・滞在の原因・理由を詳細に分析することで、各種警察活動を通じて検挙・取締りを強化すること」 など
- テーマ…「教育庁関係「子どもたちの自主性・自立性の育成」」
- 提言…「学識経験者などからなる就学前教育・家庭教育推進協議会を運営し、推進アクションプランの策定や総合的な施策の推進に取り組むとともに、必要とされる人材やその育成方法を含め、推進体制の在り方を検討していくこと」 など

環境保全対策調査特別委員会

環境保全等に関する諸方策について提言
本委員会(小川一成委員長)は、次世代に美しく、豊かな環境をつなぐため、本県に影響のあるさまざまな環境問題への対策を中心に、森林湖沼環境税や世界湖沼会議などについても調査項目に取り上げ、精力的に調査・検討を行ってまいりました。

十二月十五日に開催した第七回委員会で調査結果を取りまとめ、定例会最終日の本会議では、委員会にて活発に議論のありました「湖沼」と「森林」の環境保全対策に関する調査結果(提言内容)について、委員長から報告を行いました。

◆委員長報告の要旨◆

- 「湖沼」の環境保全対策について
 - ・「湖沼共通」
 - ・下水道や農業集落排水の未接続世帯を解消するため、接続に対する補助制度の拡充等を図るとともに、市町村とも連携し、法に基づく罰則の適用等を含め、厳格に対応していくことが必要。
 - ・下水道等の未整備区域で単独処理浄化槽を設置している方に対して、NP型高度処理浄化槽への転換促進を積極的に進めていくことが必要。
 - ・罰則の規定が無い小規模事業所からの排水については、罰則適用なども検討しながら、指導・対策を強化していくことが必要。
- 「霞ヶ浦」の環境保全対策
 - ・関係各部で実施している対策を一元化し、効果的・効率的に推進していくため、専門部署を直轄などに設置し、知事を筆頭に強力に対策に取り組んでいくことが必要。
 - ・生活排水処理率100%の達成に向け、さらに対策を強化するとともに、そのための方針・計画等を早急に検討し、実行に移していくことが必要。
 - ・また、浄化槽を設置した者に対しては、浄化槽の維持管理が適切になされるよう、法定検査の受検等について適切に指導し、意識喚起していくことが必要。

○「森林」の環境保全対策について

- ・森林の保全・整備に当たっては、数値目標や、対策を行うことによる県民への恩恵などを「見える化」し、対策事業への理解促進を図っていくことが必要。
- ・「現地条件に応じた植林の推進」や「担い手の確保・育成」などの点を十分に考慮しながら、森林整備の在り方などを検討・見直ししていくことが必要。
- ・森林資源の有効利用を推進するため、森林整備の作業の集約化や作業道の整備、森林循環サイクル短縮化の検討など、森林整備の低コスト化に向けた取り組みを推進していくことが必要。

委員会で、この他、地球温暖化や生物多様性などの環境問題への対策や、森林湖沼環境税を活用した環境対策、世界湖沼会議開催に向けての調査結果についても取りまとめました。

なお、調査結果報告書につきましては、県議会ホームページに掲載しております。



報告を行う小川一成委員長

特別委員会などの新人事

予算特別委員会は、県の予算を総合的に検討し、予算審査の一体性を確保するために設置される委員会です。

委員長 森田 悦男
副委員長 戸井田和之
委員 西條 昌良、小川 一成、福地源一郎、石井 邦一、村上 典男、萩原 勇、加藤 明良、下路健次郎、星田 弘司、中村 修、岡田 拓也、田口 伸一、水柿 一俊、江田 隆記、川口 政弥、長谷川修平、二川 英俊、井手 義弘、山中たい子、藤島 正孝

情報委員会

情報委員会は、県議会情報公開条例に基づき、公文書の開示決定などに対する不服申立てや議会広報の充実についての調査などを行う委員会です。

委員長 舘 静馬
副委員長 鈴木 定幸
委員 横山 忠市、鈴木 将、金子 晃久、川口 政弥、設楽詠美子、高崎 進、上野 高志、外塚 潔

監査委員

県民代表の立場から適切な県予算の執行などについて、監査を行います。

細谷 典幸、伊沢 勝徳

議会運営委員会

議会運営委員会は、議会運営の円滑化を図るため、議会の運営に関する事項などについて協議するために設置される委員会です。

委員長 川津 隆
副委員長 鈴木 亮寛
委員 葉梨 衛、田山 東湖、西野 秀一、志賀 智之、飯田 光雄、佐藤 智之、八島 功男、江尻 加那

永年在職議員表彰

十二月一日に茨城県議会の永年在職議員表彰が行われました。表彰を受けた議員は次の通りです。

- 三十年在職 海野 透 議員
- 二十年在職 細谷 典幸 議員
- 十年在職 横山 忠市 議員、鈴木 亮寛 議員、山本 亮子 議員、佐藤 光雄 議員、戸井田 和之 議員、石井 邦一 議員、舘 静馬 議員

※【NP型高度処理浄化槽】…窒素(N)・りん(P)の両方を除去できる高度処理型の浄化槽。

常任委員会の構成

定数63人
(現員61人)

◎印は委員長／○印は副委員長

丸数字は当選回数 ()内は所属党派

総務企画委員会



総務企画委員会は、11人(現員10人)で、税財政、市町村振興、産業立地、地域振興、情報化などに関する調査、審査します。

防災環境商工委員会



防災環境商工委員会は、10人で、消防防災、文化振興、環境保全、中小企業育成、労働、観光などに関する調査、審査します。

保健福祉委員会



保健福祉委員会は、11人(現員10人)で、保健、福祉、医療などに関する調査、審査します。

農林水産委員会



農林水産委員会は、11人で、農業、林業、畜産業、水産業などに関する調査、審査します。

土木企業委員会



土木企業委員会は、10人で、道路、河川、港湾、住宅、公園、下水道や工業用水道事業などに関する調査、審査します。

文教警察委員会



文教警察委員会は、10人で、学校教育、社会教育、芸術・文化、警察、国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の開催準備などに関する調査、審査します。